



2023年11月22日

各 位

会 社 名 ダイワボウホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 西村 幸浩
 (コード番号 3107 東証プライム)
問合せ先 取締役 経営戦略室長 猪狩 司
 (TEL. 06-7739-7300)

**「次期中期経営計画策定に向けた重点検討事項における検討状況
及び繊維事業の独立化に係るご報告」の公表について**

当社は、2023年11月22日付「連結子会社（特定子会社）の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」にて、当社の連結子会社（特定子会社）である大和紡績株式会社の発行済株式の85.0%を、アスパラントグループ株式会社の関連ファンドが発行済株式の全てを所有する株式会社アスパラントグループSPC11号に譲渡することについて決議したことをお知らせしました。

これにより、当社が2023年5月15日に公表した「次期中期経営計画策定に向けた重点検討事項と検討体制について」に基づき検討しておりました、繊維事業の当社グループからの独立化が実行されることとなります。

重点検討事項に関する検討状況と本件実施の経緯の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

次期中期経営計画策定に向けた 重点検討事項における検討状況及び 繊維事業の独立化に係るご報告

2023年11月22日



ダイワホールディングス株式会社

(証券コード：3107)

次期中期経営計画での重点検討事項について

「最適な事業ポートフォリオの確立」における検討の結果、
繊維事業の独立化を実現するために大和紡績の株式譲渡を決定

検討事項	概要	現状のステータス
全社パーパスの確立と成長戦略の策定	<ul style="list-style-type: none">■ 当社グループのアイデンティティを見定め、社会的な時流と会社組織のDNAを踏まえたパーパスを確立■ 会社として何をコアとして、そこを起点にどのように収益性を最大化し、当社の社会的意義を実現していくかという観点で成長戦略を策定	<ul style="list-style-type: none">■ 当社グループのパーパスを新たに策定し、2023年11月発行の統合報告書にて価値創造プロセスとあわせて発信■ 策定したパーパスを軸に、成長分野と当社が提供する付加価値のあり方を検証しながら成長戦略を検討中
グループ全体での価値最大化に向けた最適な事業ポートフォリオの確立	<ul style="list-style-type: none">■ 経済産業省策定の事業再編実務指針等を参考にしながら、既存事業についてベストオーナー原則と事業環境評価、資本収益性を検証した上で、企業価値最大化のために適切なタイミングで戦略的選択肢を実行し、最適な事業ポートフォリオを確立	<ul style="list-style-type: none">■ 当社及び大和紡績の企業価値最大化の観点から、繊維事業の独立化を実現するために大和紡績の株式譲渡を決定■ 当社グループが提供する価値、成長のポテンシャル、持続可能性の観点から最適な事業ポートフォリオの確立に向けた検討を継続
成長投資と株主還元の実現の最適化の実現	<ul style="list-style-type: none">■ 資本コストを踏まえた最適な成長投資と株主還元を実現し、企業価値の向上を目指すキャピタルアロケーションの方針を策定■ 「ヒト・モノ・カネ」のリソース配分の最適化と、株主へのリターンを最大化できる資本政策の確立	<ul style="list-style-type: none">■ 各事業会社で生み出された収益の配分方針について、それぞれの事業ごとの業績拡大に向けた成長投資のみを優先するのではなく、<u>グループ全体としての収益性の最大化を目指すためのキャピタルアロケーション</u>を検討中

継続中

繊維事業の独立化に係る概要

2023年11月22日、当社は大和紡績の株式85%を
アスパラントグループの関連ファンドが所有するSPCへ譲渡することを決議

大和紡績株式譲渡の概要

大和紡績の 事業概要

- 繊維製品の製造・加工・販売
- 事業会社の株式保有による事業活動の支配管理

連結財務概要* (2023年3月)

- 売上高：627億円 ■ 営業利益：13億円
- 総資産：631億円 ■ 純資産：325億円

譲渡先

- 株式会社アスパラントグループSPC11号
(アスパラントグループ株式会社が発行済株式の全てを所有するSPC。譲渡時には、アスパラントグループの関連ファンドが100%所有予定)

譲渡価格

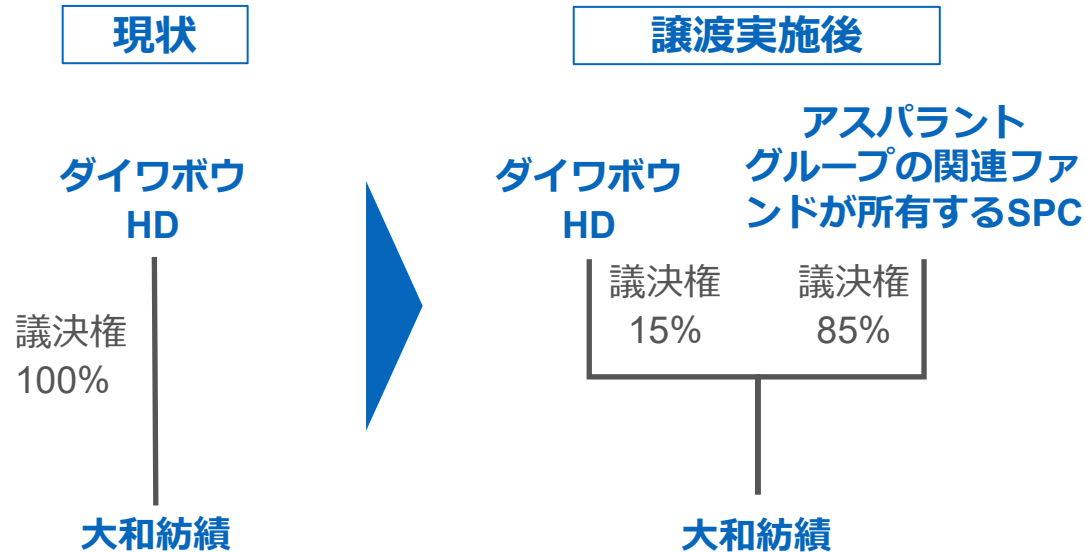
- 95.4億円（株式価値112.2億円の85%相当額）
- 譲渡価格は企業価値248億円をベースに運転資本、有利子負債、その他の資産・負債等に加え、アスパラントグループが大和紡績の持続的成長を実現するために拠出する予定である設備投資額を考慮した金額

譲渡完了時期

- 2024年1月18日（予定）

* 外部会計監査を経た連結財務諸表を作成していないため、大和紡績にて管理している連結ベースでの財務数値を参考値として記載

譲渡後の資本構成



大和紡績の既存取引先や従業員といったステークホルダーとの一定の関係性を維持しつつ、スムーズな移行を目的とした協力関係維持期間として、**当面の間は大和紡績の議決権15%の所有を継続予定**

繊維事業の独立化を実現するための譲渡先の決定については、検討体制を整備したうえで公正な入札プロセスを実施
当社が重視する観点から総合的に勘案した結果、アスパラントグループの提案が最も優位性が高いと評価

独立化プロセスの概要

検討体制の整備

- 公正なプロセス進行のため、フォーリハン・ローキーをファイナンシャルアドバイザーとして起用し、検討体制を整備

譲渡候補先の選定

- 国内外の事業会社、投資ファンドなど複数の候補先を幅広くプロセスに招聘

提案内容に係る検討プロセス

- ワーキンググループおよび外部アドバイザーからの報告・助言を元に、社外取締役が過半数を占める取締役会にて十分な協議を積み重ねた上で譲渡先・譲渡条件を決定

交渉期間の確保

- 譲渡条件に係る交渉期間として、2カ月超の期間を確保し、当社グループにとって望ましい条件を引き出すべく交渉を実施

独立化プロセスを通じた当社判断

プロセス参加者から受領した
複数の提案書を比較検討

主に以下の観点について総合的に勘案

- 大和紡績の企業価値評価額
- 譲渡後の経営体制
- 譲渡の確実性
- 大和紡績への投資後の戦略
- 新体制移行実現までの迅速性

アスパラントグループの提案が
最も優位性が高いと評価

本件の業績影響と今期の株主還元の方針について

大和紡績の株式譲渡により特別損失を計上予定であり、売上高・営業利益への影響は精査中
今期においても株主還元は従来の考え方を継続し、中間配当・期末配当の実施に変更は無し

業績予想修正 について

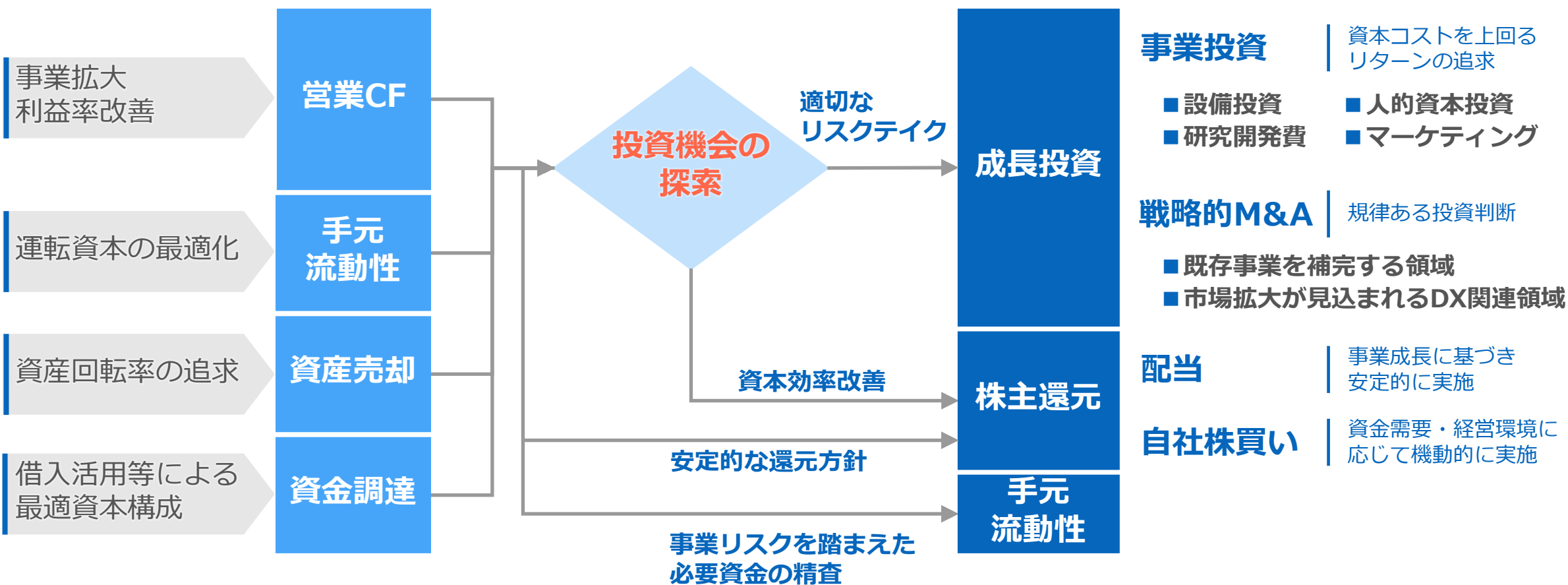
- 大和紡績の株式譲渡に伴い約**170**億円の特別損失が生じる見込みであり、本日開示の業績予想修正においては、当該影響を織り込み済み
- 今回の事業ポートフォリオ再編による売上高・営業利益等への影響については、直近の業績動向等を含め、現在精査中
- 今後、本日公表した業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに公表

今期の株主還元 の考え方

- 大和紡績の株式譲渡により特別損失が発生も、年間配当金額は2023年11月9日「剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」で開示した以下水準から変更なし
 - 中間配当：1株当たり32円**
 - 期末配当：1株当たり32円（予定）**
- 今期検討している自己株式取得は**現中期経営計画の株主還元方針を維持**し、本件の特別損失は加味せず**当社グループの正常収益力に鑑みて機動的に実施予定**

成長投資と株主還元の実現

適正な投資評価基準を策定し実行することで最適な成長投資と株主還元を実現し企業価値の向上を目指す
大和紡績の株式譲渡によるキャッシュインは下記考え方をもとに、次期中期経営計画において適切にアロケーションを実施



私たちの存在意義

Purpose

バリューチェーンで 人をつなぐ、社会をつなぐ、未来へつなぐ

さまざまな社会活動を構成しているバリューチェーン（価値連鎖）の中で、ビジネスに携わる人々、企業、地域社会をつなぎ、結びつけることが当社グループの存在意義ととらえています。「パートナーシップ」に重きをおき、バリューチェーン全体のブランディングを図り、当社グループの力だけでは解決が難しい社会課題に対しても、有機的に連携・協調することで総合力を発揮してまいります。

また、「未来へつなぐ」には、多様で先進的なIT製品・サービスの普及、日々の暮らしや多くの産業に貢献できる研究開発の追求により、常に新しいテクノロジーを探求し実際に触れる中で、それをバリューチェーンに還元していくことで、未来における「快適さ」や「安心と安全」、そして「人と社会の幸せ」の実現を目指すメッセージが込められています。現代社会におけるインフラを支えるだけではなく、事業環境や価値観の変化をとらえ、未来に向けて、より社会を快適に変えていくために幅広く貢献していきます。

あるべき成長戦略の策定について

新たに制定したパーパスを礎に、社会課題の解決と持続的な企業価値向上を両立させる経営を目指す

INPUT

■ 財務資本

安定したキャッシュフローによる事業規模拡大と財務基盤強化

■ 知的資本・製造資本

整備された流通・生産インフラと独自の技術力・テクノロジー知見

■ 人的資本

事業ごとの人材育成を基軸とした人材ポートフォリオの構築

■ 社会関係資本

業界や顧客との強いパートナーシップ

■ 自然資本

エネルギーや天然素材の活用

ビジネスモデル

当社グループの提供価値

成長のポテンシャル

持続可能性

これらの観点から
あるべき成長戦略を構築

企業価値最大化に向けた
最適な事業ポートフォリオの追求

OUTPUT / OUTCOME

■ 社会的価値の創造

▶ デジタル社会の高度化

- ・世界の先端テクノロジーの導入
- ・ICTによる地域格差のない教育の実現

▶ 社会インフラの整備

- ・サブスクリプション普及による循環型経済の実現
- ・社会を支える産業への貢献

▶ 環境への貢献

- ・環境配慮型製品の販売
- ・再生可能エネルギー産業への貢献

■ 経済的価値の創造

▶ 持続的な企業価値の向上

- ・中期経営計画の達成
- ・資本効率の向上 (ROE・ROIC)
- ・株主還元の実現

<https://www.daiwabo-holdings.com/>



ダイワボウホールディングス株式会社

【免責事項】

本資料に記載された業績予想値等の将来に関する記述は、現在入手可能な情報をもとに、当社が現時点で合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、その正確性を保証するものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因により本資料の内容と異なる可能性のあることをご承知おきください。なお、当社は理由の如何にかかわらず、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても責任を負うものではありません。

※本資料中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。